

重点支援区域（下関保健医療圏）の申請について

令和4年（2022年）1月

1 概要

公立・公的医療機関等の具体的対応方針が、2025年において達成すべき医療機能の再編、病床数等の適正化に沿ったものとなるよう、重点支援区域の設定を通じて、国による集中的な支援や助言を実施

※地域医療構想調整会議の合意後、県が申請し、国が選定

2 対象事例

複数医療機関の再編統合（機能分化・連携・転換、集約化等含む。）

※再検証対象医療機関（全国436病院、県内13病院）以外の事例も対象

【優先して選定される事例】

以下の事例を有する区域については、医療機能再編等を進める上で論点が多岐に渡ることが想定されるため、優先して「重点支援区域」に選定

- 複数設置主体による医療機能再編等を検討する事例
- できる限り多数（少なくとも関係病院の総病床数10%以上）の病床数を削減する統廃合を検討する事例
- 異なる大学病院等から医師派遣を受けている医療機関の医療機能再編等を検討する事例
- 人口規模や関係者の多さ等から、より困難が予想される事例

3 国の支援内容

○ 財政的支援

重点支援区域での統廃合（廃止病院あり）を伴う病床削減（10%以上）を行う場合には、廃止病床1床あたりの補助について、一層手厚く支援（補助単価×1.5）

※ 補助単価×1.5とするためには、統合による病院廃止が必要

○ 技術的支援

- ・ 地域の医療提供体制や、医療機能再編等を検討する医療機関に関するデータ分析
- ・ 関係者との意見調整の場の開催

4 スケジュール

令和4年2月 地域医療構想調整会議での審議・合意

令和4年3月 県医師会への意見聴取
国への申請（※随時募集）

5 再編統合（機能連携等を含む）の対象となる医療機関名（下関区域）

独立行政法人国立病院機構 関門医療センター

独立行政法人地域医療機能推進機構 下関医療センター

社会福祉法人恩賜財団済生会支部 山口県済生会下関総合病院

地方独立行政法人 下関市立市民病院

(参考) 選定区域 (現時点)

12道県17区域

- 1回目 (令和2年1月31日) 3県5区域
 - ・宮城県 (仙南区域、石巻・登米・気仙沼区域)
 - ・滋賀県 (湖北区域)
 - ・山口県 (柳井区域、萩区域)

【今後の方向性 (申請時)】

柳井区域

今後の方向性：周防大島町立病院事業局再編 (R2.4.1実施)

- ① 大島病院 (99床) 回復期機能強化
- ② 橘病院 (36→19床) 有床診療所化 (病院廃止)
- ③ 東和病院 (114→99床) ダウンサイジング
(計249床→217床、△32床、△12.9%)

萩区域

今後の方向性：2病院統合 (計334床→減床)

※ 病床規模や経営形態については地域医療構想を踏まえ、10%以上の減床も含めて、中核病院形成検討委員会にて今後検討

- ① 市立萩市民病院 (100床)
- ② 医療法人医誠会都志見病院 (234床)

- 2回目 (令和2年8月25日) 6道県7区域
 - ・北海道 (南空知区域、南檜山区域)
 - ・新潟県 (県央区域)
 - ・兵庫県 (阪神区域)
 - ・岡山県 (県南東部区域)
 - ・佐賀県 (中部区域)
 - ・熊本県 (天草区域)
- 3回目 (令和3年1月22日) 2県2区域
 - ・山形県 (置賜区域)
 - ・岐阜県 (東濃区域)
- 4回目 (令和3年12月3日) 2県3区域
 - ・新潟県 (上越区域、佐渡区域)
 - ・広島県 (尾三区域)

重点支援区域に関する情報提供

都道府県：山口県

対象構想区域	柳井
支援が必要な理由 (自由記載)	人口減少、高齢化による患者数の減少を踏まえた将来の医療・介護需要を見据え、今後も周防大島町病院事業局を存続できるよう経営面を考慮しつつも、地域にふさわしい医療提供体制を維持するため、町において、病院事業局再編計画案を作成（第1期R1～R5）し、協議を行っているが、当再編により受療に支障が生ずる地域住民等への合意形成や、病床削減（△12.9%）コストに対する支援、第2期計画（R6～）に向けた取組などへの集中的な支援が必要
対象医療機関の概要 (別添資料も記載)	・周防大島町、町立大島病院 99床 ・周防大島町、町立東和病院 114床 ・周防大島町、町立橋病院 36床
構想区域内の医療機関数	公 立： 3施設（249床） 公 的： 2施設（640床） 民 間： 10施設（1, 231床）
今後の方向性 (設置主体等で考え方が異なる場合全てを記載して下さい。)	① 橋病院の有床診療所化（36→19床）R2.4.1 ② 東和病院のダウンサイジング（114→99床）R2.4.1 ③ 大島病院（99床）の回復期機能強化 地域包括ケア21床（区分2→1）R2.4.1 （計249床→217床、△32床、△12.9%） ④ 老健やすらぎ苑（定員50名）の介護医療院転換 R3.4.1
現在の議論の進捗状況	○周防大島町議会（再編計画案等協議） 令和元年 12/18 病院事業改革等特別委員会 12/19 全員協議会 12/20 議会報告（特別委員会結果の報告） （今後の予定） 令和2年3月 病院設置条例改正、新年度予算 ○地域医療構想調整会議（柳井） 令和2年 1/8 検討部会にて再編計画案を報告・協議
必要としている支援	○財政的支援 統廃合を伴う病床削減への補助 等 ○技術的支援 地域の医療事情に関するデータや資料提供 住民説明会や地域医療構想調整会議等への国職員の出席 等
その他参考となる事項	○地方公営企業法適用区分：条例全部適用

重点支援区域に関する情報提供

都道府県：山口県

対象構想区域	萩
支援が必要な理由 (自由記載)	<p>萩区域の急性期医療は、主として萩市民病院と都志見病院が担っているが、それぞれ病院機能が限られており、脳血管疾患や呼吸器疾患への対応など、急性期の機能が不足している状況。</p> <p>近年、両病院とも医業収益力が低下し、厳しい経営環境にあり、人口減少、高齢化による患者数の減少を踏まえた将来の医療・介護需要を見据え、両病院の統合に向けた具体的な検討が必要であり、そのための地域住民等への合意形成や、中核病院形成、病床削減のコストに対する支援などへ集中的な支援が必要</p>
対象医療機関の概要 (別添資料も記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・萩市、萩市民病院、100床 ・医療法人医誠会、都志見（つしみ）病院、234床
構想区域内の医療機関数	<p>公 立： 2施設（102床）</p> <p>公 的： 1施設（ 1 床）</p> <p>民 間： 7施設（779床）</p>
今後の方向性 (設置主体等で考え方が異なる場合全てを記載して下さい。)	<p>2病院統合（計334床→減床）</p> <p>※病床規模や経営形態については地域医療構想を踏まえ、10%以上の減床も含めて、中核病院形成検討委員会にて今後検討</p> <p>①市立萩市民病院（100床）</p> <p>②医療法人医誠会都志見病院（234床）</p>
現在の議論の進捗状況	<p>○萩市議会（再編計画案等協議）</p> <p>令和元年 12/19 市議会補正予算議決 (中核病院形成検討委員会経費等)</p> <p>(今後の予定)</p> <p>令和2年 1/31 中核病院形成検討委員会（第1回）</p> <p>○地域医療構想調整会議（萩）</p> <p>令和元年 12/17 検討部会にて統合にむけた検討を開始することを報告・協議</p>
必要としている支援	<p>○財政的支援</p> <p>統廃合を伴う病床削減への補助</p> <p>市の都志見病院買取への支援（買取費用へ補助） 等</p> <p>○技術的支援</p> <p>地域の医療事情に関するデータや資料提供</p> <p>住民説明会や地域医療構想調整会等への国職員の出席 等</p>
その他参考となる事項	<p>○地方公営企業法適用区分（萩市民病院）：当然財務適用</p>